

三郷出張所だより

出張所だよりは江戸川河川事務所のホームページ
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa>)に掲載しています。

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
三郷出張所 発行
電話 048(952)7015
2017年9月【第42号】

『平成28年度 優良工事等表彰式』が執り行われました。

7月18日(火)、関東地方整備局江戸川河川事務所(千葉県野田市)において、平成28年度優良工事等表彰式が執り行われました。

この表彰式は、平成28年度中に完成した工事(50件)並びに完了した業務(57件)の中で、特に優れた成績(工事の出来映えや工事中の安全管理、創意工夫の実施、工事そのものの難しさなどを考慮)を収めた工事、業務、技術者等を対象に、「優良工事及びに優秀工事技術者」、「優良下請企業及びに優秀下請技術者」、「難工事功労企業」並びに「優良業務及びに優秀技術者」を選定し、その功績を称える事務所長表彰式となっています。

今回の表彰では、優良工事・優秀工事技術者として4社・4名、優良下請企業・優秀下請技術者として1社・1名、難工事功労企業として14社が選定されました。

このうち、三郷出張所が関わった工事では、「H27下内川地区堤防整備工事」を行った川村建設(株)、この工事を担当した監理技術者(衛藤清之)が、「優良工事及びに優秀工事技術者」の表彰を受けました。さらに、「H27上内川地区基盤整備工事」を行った小川工業(株)と、「H28三郷吉川河川維持工事」を行った名倉建設(株)が「難工事功労企業」に選定されました。

表彰されました各社、各人におかれましては、今回の功績を励みに、更なる飛躍に努めていただきたくとともに、工事事務事故防止に向け、より一層の努力をお願いするところです。この度は、本当におめでとうございます。



※優良工事等の表彰写真

「河川愛護モニター会議」が開催されました。

7月19日(水)、三郷出張所内の会議室におきまして、平成29年度(第1回)「河川愛護モニター会議」が開催されました。

当日は暑さの厳しい状況でしたが、江戸川河川事務所管内の各出張所に委嘱されている河川愛護モニターのうち、7名の方に出席いただき、事務所関係者との会議(打合せ)に臨まれました。

河川愛護モニターさんとの意見交換では、出席した事務所及び各出張所職員に対し、日頃より江戸川河川事務所が所管する江戸川、中川及び綾瀬川を、親しみを込めて見守り続けている上で、ゴミの不法投棄や注意看板及び除草などの問題で、改善を求める率直な意見が数多く聞かれました。

会議終了後、短い時間でしたが、三郷排水機場内のポンプ室を視察いただき、巨大な施設の一部を体感いただきました。

春夏秋冬、河川はいろいろな風景を私達に提供してくれます。その風景をいつまでも見続けられるよう、モニターの方と協力しながら、健全な河川維持に務めて参ります。



※モニター会議の状況



※ポンプ室内での視察状況

三郷市の教職員の方が、三郷排水機場に来所されました。

8月25日（金）、三郷市の教職員の方31名が、三郷排水機場の視察に来所されました。

当日は、三郷放水路の概要を説明するとともに、健脚に自信のある方には、機場内にある煙突（地上約50m）に登っていただき、機場（煙突）周辺の景色をご覧いただきました。その後は、機場内の各施設（操作室並びにポンプ室）をそれぞれ視察していただきました。

東京都（葛飾区）が目と鼻の先となるこのような場所（三郷市新和地区）に、排水能力200m³/sのポンプ設備を有する『三郷排水機場』なるものが、実は、中川や綾瀬川といった都市河川と連携して、洪水被害軽減にこれまで大きく貢献してきたことなど、その存在意義を少しでも理解していただくことが出来たのではないかと感じております。



※会議室での概要説明



※煙突上部からの視察状況



※ポンプ室内での視察状況

「2017みさとサマーフェスティバル花火大会」が開催されました。

8月20日（日）、江戸川の河川敷を舞台に、『2017三郷サマーフェスティバル花火大会』が開催されました。本来ならば、前日19日（土）の開催予定でしたが、ここ最近の天候が不純で、さらに江戸川の水位も幾らか高い状況もあったため、予備日である20日（日）の開催となりました。

サマーフェスティバルが行われた20日当日も、前日来からの降雨の影響もあり、一部河川敷が冠水してしまったことから、屋台ブースのイベントが中止せざるを得なくなってしまいましたが、主催者側並びに花火打ち上げ担当者の方の多大なるご尽力等により、今年の花火大会を開催することが出来ました。

今年の花火大会も、流山市の花火大会との同日開催を受け、約1万4千発の花火が夜空に打ち上げられました。趣向を凝らした花火や色とりどりの花火が夜空を彩り、「あっ!!」という間の時間でしたが、夜空に描かれる夏の風物詩を、多くの方がしっかりと目に焼き付けているようでした。



☆ あ と が き ☆



今年の夏の3ヶ月予想なるものは、真夏日（猛暑日）が続くものと予想されていたように記憶していますが、蓋を開けてみれば、8月に入ってから梅雨の時期を思わせるような雨の日が続き、時折秋の風情すら感じさせる毎日となっています。思い起こせば昨年は、8月のお盆以降、毎週のように台風が日本列島に接近し、雨が降りしきり、時より日が射すような状況だったように記憶しておりますが、今年も異常気象の影響からか、夏の時期と梅雨の時期が入れ替わってしまったような、そんな季節感が感じ取れます。出来れば来年は、ちゃんと夏らしく「晴れ」の続く毎日であってほしいものと、この時期に思ってしまう今日この頃です。

江戸川河川事務所
携帯版ホームページ

<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/m/index.htm>

